

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いいない | いいえ | 改善目標・工夫している点 |
|------------------|--|---|----|---------------|--|---|
| 環境・ 体制整備 | ① | 子どもの活動スペースは十分に確保されているか | | ○ | | ・高学年になると少し狭く感じる。規定上は問題ないが活動スペースの広さは保護者ニーズとしても上がってきている。安全に留意しながら外活動も取り入れ始めている。 |
| | ② | 職員の配置数は適切であるか | ○ | | | ・規定上に問題なく、常勤4名を配置している。不定期にボランティアにも参加して頂いている。 |
| | ③ | 事業所の設備はバリアフリー化の配慮が適切になされているか | ○ | | | ・玄関の段差には簡易スロープを準備。トイレに手すりを設置している。 |
| 業務改善 | ④ | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか | | ○ | | ・ホワイトボードを活用し、必要と感じたものを共有できる場を作っている。スタッフ全員で丸となって取り組めるようになっていく事が今後の課題。 |
| | ⑤ | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか | ○ | | | ・活動室内に留まらない活動を広げている。保護者アンケートを実施し、内容を把握、改善を行っている。 |
| | ⑥ | この自己評価の結果を、事業所の会報やHP等で公開しているか | ○ | | | ・HPで毎年度、公表している。 |
| | ⑦ | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか | | ○ | | ・事業所見学者やボランティアなどの受け入れを行い、外部からの意見をもらう機会を設け改善を図っている。外部評価としての依頼は行っていない。 |
| | ⑧ | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか | ○ | | | ・堺市だけでなく、大阪府主催のものや身体アプローチに関する自主研修など、スタッフ個人が興味を持ったものの研修にも参加してもらっている。 |
| 適切な 支援の 提供 | ⑨ | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか | ○ | | | ・アセスメントシートを作成し、そのニーズや聞き取りを行いながら、計画書を作成している。 |
| | ⑩ | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか | ○ | | | ・独自のアセスメントシートを作成して、指標の一つとしている。 |
| | ⑪ | 活動プログラムの立案をチームで行っているか | ○ | | | ・毎回子どもと内容を決定しながら、その子の課題やニーズを抱きながら関わり、アプローチしている。 |
| | ⑫ | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか | ○ | | | ・毎回、子どもと一緒に活動内容を決める為、固定化しない。固定化する子どもに関しては、交渉して固定化しないような関わりをしている。 |
| | ⑬ | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか | | ○ | | ・個々の課題に合わせて、アプローチしつつも一つの課題だけではなく総合的に見てながら支援している。 |
| | ⑭ | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか | ○ | | | ・個別支援が基本だが、必要に応じて他の子どもとの関わりを持つなど、個々の課題に合わせて対応している。 |
| | ⑮ | 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか | ○ | | | ・朝礼で打ち合わせを行っているが、時間がなく難しい場合は管理者が個々のスタッフに言葉かけをして対応している。 |
| ⑯ | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか | | ○ | | ・必ずではないが、スタッフ個々で指導の振り返りや反省を行い、フィードバックしている。 | |
| ⑰ | 日々の支援に関して正しく記録を取る事を徹底し、支援の検証・改善につなげているか | ○ | | | ・記録係を設け、指導内容をその場で入力。次の指導に向けてつなげている。 | |

| | | | | | | |
|--------------|----|--|---|---|---|---|
| | 18 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している | ○ | | | ・半年に1回以上、必要に応じてモニタリングを行い、見直しをしている。保護者にモニタリング・アセスメントシートを記入して頂き、それも反映させている。 |
| | 19 | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか | ○ | | | ・複数組み合わせつつ、本人の課題やニーズに合わせて実践している。 |
| 関係機関や保護者との連携 | 20 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している | ○ | | | ・児発管が参加している。・現状は児発管が参加しているが、他のスタッフでその子どもに精通した最もふさわしい者が参加出来るように育成している。 |
| | 21 | 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換・子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか | | ○ | | ・保護者送迎の為、学校の情報保護者からの情報が主となっている。学校との情報共有は担当者会議などに積極的に参加し、図っている。 |
| | 22 | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか | | | ○ | ・医療的ケアが必要な子がいない。てんかん発作等がある子どもに関しては緊急時の対応を作成し、役割分担をスタッフでも作成している。 |
| | 23 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか | | ○ | | ・希望する保護者に関して関係機関連携加算Ⅱを取得し、書式化して関係機関との連携をはかっている。 |
| | 24 | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供するなどしているか | | | ○ | ・高校年齢での卒業生が現状はいないが、移行時の情報連携を行う意思がある。 |
| | 25 | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか | ○ | | | ・あい・さかい・サポーター研修を受けている。主催研修などは積極的に参加している。 |
| | 26 | 放課後児童クラブや児童館との交流や障害のない子どもと活動する機会があるか | | | ○ | ・外活動時に他の子どもとの関わりを子どものニーズに合わせて持つ事があるが、意図して実施していない。 |
| | 27 | (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか | | ○ | | ・自立支援協議会に参加した事がない。さかい放課後連絡会への参加は積極的に行っている。 |
| | 28 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか | ○ | | | ・保護者の目の前で指導をしている為、送迎時などにその子の「今」を共有する事が出来ている。 |
| | 29 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか | ○ | | | ・ペアトレに限らず、他の保護者参加可能な研修会などの案内もニーズに合わせて積極的に行っている。 |
| 保護者への説明責任 | 30 | 運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか | ○ | | | ・契約面談時に行っているが、変更や修正などがあればその都度、個々に合わせて対応・説明している。 |
| | 31 | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか | ○ | | | ・児発管が主に対応しているが、スタッフにも対応してもらう機会が増えている。個々の相談内容に対応できるように自己研磨してもらっている。 |
| | 32 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか | | ○ | | ・ルピナスで主催している会は現在は開催していない。保護者ニーズに合わせて、個人情報に配慮して保護者同士の連携を図る場合もある。 |
| | 33 | 子どもと保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | ○ | | | ・マニュアルを作成し、窓口の管理者に繋ぐようにしている。事象発生時当日に対応している。 |

| | | | | | | |
|---------|-----------------------------|--|---|---|----------------------------------|--|
| 仕等 | ③4 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか | ○ | | | ・週に最低一回はブログを更新して、最新の情報を提供するようにしている。・LINEアカウントとメールで保護者との連絡体制を設けている。 |
| | ③5 | 個人情報に十分注意しているか | ○ | | | ・個人情報に十分注意をして取り扱っている。 |
| 非常時等の対応 | ③6 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか | ○ | | | ・視覚支援を用いたり、ルビをふった契約書等を準備している。 |
| | ③7 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか | | | ○ | ・事業所では行えていないが、地域情報を提供する事は積極的に行っている。 |
| | ③8 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している | | ○ | | ・職員には周知出来ているし、事務室内の掲示している。保護者には周知出来ていない。周知の必要性に応じてマニュアルを公開する事も可能。 |
| | ③9 | 非常災害の発生時に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか | ○ | | | ・年2回以上の計画で訓練している。 |
| | ④0 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか | ○ | | | ・大阪府主催の人権研修に参加している。・参加した者からの伝達研修を行っている。 |
| | ④1 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し、了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか | | ○ | | ・子どもの成長に合わせて必要性がある子に対して個別支援計画への記載を行っている。 |
| | ④2 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか | | | ○ | ・食物、おやつの提供を行っていない。 |
| ④3 | ヒアリハット事例集を作成して、事業所内で共有しているか | ○ | | | ・年度終わりに昨年度のヒアリハット事例集を作成し、共有している。 | |